

## 平成21年度地域スポーツ指導者育成推進事業 取組事例

都道府県名 富山県 受託団体名 富山県教育委員会

事業テーマ 地域住民のスポーツニーズに応じた研修プログラムの開発と生涯スポーツ指導者の育成

### 【テーマ設定の理由】

本県では、全市町村に総合型クラブが設置され、また、地域のスポーツ指導者の有効活用を図るため、総合型クラブを窓口「スポーツ指導者パスネットとやま」を平成19年度から運用している。

また、平成22年に本県で開催される全国スポレク祭に向け、県民のスポーツへの参加意欲が高まっていることから、地域のスポーツ指導者の資質の向上や、新たな指導者の発掘が急務と考えられる。

このため、指導者に必要な危機管理や応急処置などの基礎講習や実践研修を実施しながら、地域住民のスポーツニーズに応じた指導者育成プログラムを開発・普及し、指導者の確保と資質の向上を図る。本年は総合型クラブの会員構成で41.9%を占める中高年齢者を対象とした指導法に関して講習会を実施した。

### 地域スポーツ指導者育成推進委員会

赤松 喜久  
(大阪教育大学 教授)

西川 あき子(NPO法人こすぎ総合  
スポーツクラブ クラブマネジャー)

布村 忠弘  
(富山大学 教授)

沼田 秀樹(NPO法人おやべスポーツクラブ  
クラブマネジャー)

池田 雅計  
(パレススポーツクラブ 事務局長)

早川 真美子  
(なめりCANクラブ クラブマネジャー)

岡島 幸子  
(スポーツクラブ富山 クラブマネジャー)

廣瀬 孝作  
(富山県体育指導委員協議会副会長)

小林 慎一  
(財団法人富山県体育協会 普及課長)

室永 美穂(NPO法人SEIBUスポーツクラブ  
クラブマネジャー)

酒本 弘充(NPO法人新湊カモン  
スポーツクラブ クラブマネジャー)

山地 延佳((財)富山県健康スポーツ財団  
富山県総合体育センター指導課課長補佐)

白倉 香理  
(富山県広域スポーツセンター専任指導者)

弓部 裕明  
(富山県生涯スポーツ協議会副会長)

高田 與志美  
(うおづスポラクラブマネジャー)

再委託先団体名 財団法人 富山県体育協会

### 【再委託先団体概要】

・設立年月日 昭和 3年 11月 5日 設立

・所在地 富山県富山市五福5区1942 アオイスportsハウス内

・特色 当協会は、競技スポーツ振興の中核として、各競技団体、郡市体育協会、中学校・高等学校 体育連盟との連携を図りながら、国民体育大会や県民体育大会をはじめとする各種競技大会の開催、優秀な選手の育成強化、国際交流事業の推進などに努めている。

・平成21年度総予算額 796,942,000 円

## 協カクラブ

- 富山県体育協会(広域スポーツセンター)
- KUROBEスポーツファミリー
- うおづスポラ
- なめりCANクラブ
- 上市町総合スポーツクラブさんさん
- パレススポーツクラブ
- スポーツクラブ富山
- おおさわのスポーツクラブ
- NPO法人ふちゅうスポーツクラブ
- NPO法人こすぎ総合スポーツクラブきらり
- NPO法人新湊カモンスポーツクラブ
- NPO法人遊・Uクラブ
- ふれんず
- NPO法人おやベスポーツクラブ
- NPO法人SEIBUスポーツクラブ
- NPO法人ふくのスポーツクラブ
- NPO法人アイウェーブ

※■は実際に実践講習会を実施したクラブ。

### 【上記機関・団体と連携をとった効果】

県体協(広域スポーツセンター)を通し、各総合型クラブに本事業の協力(受講者の推薦、実践講習会の実施など)依頼をしたことで、以下の効果があった。

- ・広域スポーツセンター、クラブ、指導者のネットワークの緊密化
- ・総合型クラブの事業(開催教室)を活用した指導者育成(実践講習会)の実施

## ①地域スポーツ指導者育成推進委員会

### ◆実施概要

#### ●第1回推進委員会

期日 平成21年7月7日(火)

場所 県民会館

内容 平成21年度事業内容について

- ・講習会の日程、内容等
- ・指導者の発掘について

開催要項の発送先の検討

総合型クラブからの参加(スタッフや教室参加者)

#### ●第2回推進委員会

期日 平成22年2月16日(火)

場所 県民会館

内容 平成21年度事業の課題と対策について

平成22年度事業計画について

事業の広報の仕方について→指導者の発掘につながる

### ◆活動の様子



### ◆評価

本年度の事業実施に向け講習科目の確認を行うとともに、総合型クラブで実施する実践講習会の効果的な実施方法について検討した。「スポーツ栄養」に関する講義も必要であるとの意見があり、次年度の講習会に盛り込むこと了承。

指導者の発掘については開催要項の配布のみではなく、各総合型クラブの運営スタッフや教室参加者(常連)に声をかけることも並行して行っていくことが必要ではないかという意見があった。

## プログラム作成部会

### ◆部会のねらい

スポーツ指導者育成講習会で使用するテキストの作成

### ◆実施概要

#### ●指導者養成テキスト検討会

- 第1回 期日・場所 第1回推進委員会と兼ねる  
内容 テキストの構成案と執筆者について
- 第2回 期日 平成21年12月18日(金)  
場所 富山県民会館(501号室)  
内容 テキストの内容、テキストの名称など
- 第3回 期日・場所 第2回推進委員会と兼ねる  
内容 テキスト最終確認

#### ●指導者養成テキスト作成ワーキング・グループ会議

- 第1回 期日 平成21年9月28日(月)  
場所 県庁  
内容 ・テキストの項立てについて  
・内容について  
・執筆者について  
・テキストの名称について
- 第2回 期日 平成22年2月8日(月)  
場所 県庁  
内容 ・内容の確認  
・テキストの名称について(決定)  
「地域スポーツ指導者へのステップ！」

### ◆活動の様子



### ◆評価

テキスト検討会(推進委員会と兼ねる)と、ワーキンググループ(クラブマネジャーをしている推進委員)を開催しテキスト作成に取り組んだ。テキスト検討会ではテキストの方向性を示し、ワーキンググループでは実際の作成業務を担当してもらった。ワーキンググループを設けたことで指導現場の様々な意見を取り入れ作成できたことは良かった。

## 基礎講習会

### ◆講習会のねらい

スポーツ指導者として、身につけてほしい基本的な知識・技術の習得を図る。

### ◆実施概要

期日 平成21年8月1日(土) ※第1回(受講者53名)

講習科目(講師)

- ・総論(赤松喜久 大阪教育大学教授)
- ・事業計画の立て方(松田雅彦 大阪教育大学附属高等学校平野校舎)

期日 平成21年8月30日(日) ※第2回(受講者52名)

講習科目(講師)

- ・応急処置 RICE法・テーピング(野村 勉 野村スポーツマッサージ治療院)  
心肺蘇生法&AED(日本赤十字社富山県支部指導員)
- ・スポーツの心理(粟木一博 仙台大学教授)

期日 平成21年9月6日(日) ※第3回(受講者54名)

講習科目(講師)

- ・危機管理(谷塚 哲 REGISTA. LLP)

※場所は全て富山市体育文化センター

### ◆参加者数

### ◆活動の様子



### ◆評価

スポーツ指導者として習得すべき必要最小限の内容を、プログラムに組み実施した。座学のみではなく、実習もあり、即、指導現場で活用できるもので、受講者の講習会に対する積極的な姿勢が見られた。

## テーマ講習会

### ◆講習会のねらい

中高年齢者を対象としたスポーツ指導に関する知識の習得

### ◆実施概要

期日 平成21年9月6日(日) ※第3回(54名)

講習科目(講師)

- ・身体のしくみと働き(布村忠弘 富山大学教授)
- ・中高年者のスポーツ指導(泉 一郎 富山国際健康プラザ健康スタジアムリーダー)
- ・スポーツ障害(今田光一 黒部市民病院関節スポーツ外科部長)

期日 平成21年9月13日(日) ※第4回(48名)

講習科目(講師)

- ・中高年齢者のスポーツ指導(実技) 池田扶実子(if企画代表)
- ・中高年齢者対象のコーディネーショントレーニング(実技)  
(日本コーディネーショントレーニング協会派遣講師 狐塚 賢一郎・茂木英子)

※場所は全て富山市体育文化センター

### ◆参加者数

### ◆活動の様子



### ◆評価

「中高年者の指導」というテーマのもと、中高年者の身体的な特徴の理解や指導上の注意点、効果的な指導法などを内容に講義や実技を実施した。クラブの会員に占める中高年者が多いことから、受講者の積極的な様子が見られ、設定したテーマは妥当と思われる。

## その他の取組

全体講習会(基礎・テーマ・実技)を修了した受講者を対象に、実際に総合型クラブの協力を得て、受講者が指導現場を体験できる実践講習会を実施した。

座学のみではなく、総合型クラブで開催されている教室に参加し、人の前に立ち、講師の指導のもと実技を行うものである。16クラブに協力を依頼し、実際には9クラブ11教室で実施された。

講師にとっても「指導者の育成」は一般の人にスポーツを指導するより難しく、慣れていない講師の方は戸惑うこともあったと聞く。どのクラブのどの教室でも実施が可能ということではないので、クラブマネージャーと講師は受講者を交えて十分話し合い、実践講習を進めることが重要である。

## 本事業の成果

全体講習(基礎・テーマ・実技)	申込者数 72名	修了者 35名
	※講習会(全4回)延べ受講者数 207名	
実践講習会	申込者数 27名	修了者 24名

本年度実施したその成果として以下のことがあげられる。

- ・指導者育成事業に広域スポーツセンターや総合型クラブも関わった。
- ・「全体講習(座学、実技)+実践講習(指導実習)」というプログラムを作成した。
- ・この事業を活用し、クラブの運営スタッフを指導者に養成するクラブが出てきた。
- ・このモデルを参考に独自に指導者養成に取り組むクラブが出てきた。
- ・実践講習会修了者の中に、指導者として採用(次年度)される受講者がいた。

## 本事業の課題と今後の取組

地域住民のニーズも年々多様化しており、それらに対応できる指導者の育成が必要である。総合型クラブが独自に指導者を育成できるシステムを持っていれば対応できると思われる。総合型クラブの協力を得て、指導実習ができる「実践講習会」を実施したが、実践講習会の指導者からは「一般の方にスポーツを指導するのとは違い、指導者を指導(育成)するのは難しい」という意見が多数出た。実践講習会の運営にはまだ改善の余地がある。本事業で作成したプログラムが定着するよう策を講じたい。

また、県公認スポーツ指導者協議会によると指導者が少ないわけではなく、日本体育協会などスポーツ関係団体が公認しているスポーツ指導者は多数いるが、「活動する機会がない」という意見もあり有効に活用されていないという需要と供給のミスマッチングが起きている。

本事業により、資格を有しながら指導現場に立っていない指導者の掘り起こしや、「スポーツ指導者パスネットとやま」登録者の研修を実施し、質的・量的向上を図っていききたい。

(本件問合せ先: 富山県教育委員会 076-444-3461)